



Cisco IP Phone 7821/7841/7861 ユーザガイド（Cisco Unified Communications Manager 10.0（SIP）用）

初版：2013年10月25日

最終更新：2014年09月19日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)



目次

はじめに 1

アクセシビリティ機能 1

Cisco IP Phone 7821 1

電話機の接続部 1

ボタンとハードウェア 3

電話スクリーン 6

Cisco IP Phone 7841 6

電話機の接続部 6

ボタンとハードウェア 8

電話スクリーン 11

Cisco IP Phone 7861 12

電話機の接続部 12

ボタンとハードウェア 13

電話スクリーン 16

電力要件 16

省電力および Power Save Plus 16

節電 16

Power Save Plus 17

追加情報 17

電話機の設定 19

フットスタンドの接続 19

ハンドセット受け台の調整 20

基本操作 21

電話スクリーンのクリーニング 21

コールの発信 22

番号のプレダイヤル 22

スピーカフォンによるコールの発信 22

ヘッドセットによるコールの発信	23
コールのリリースと別のコールの開始	23
国際番号のダイヤル	23
番号のリダイヤル	24
コールの応答	24
ピックアップを使用したコールの応答	24
グループピックアップとグループピックアップ番号を使用したコールの応答	25
グループピックアップおよび電話番号を使用したコールの応答	25
その他のピックアップを使用したコールへの応答	26
コールへの自動応答	26
コール待機通知への応答	27
コールの管理	28
コールの即転送	28
すべてのコールの転送	28
別の番号へのコールの転送	29
コール間の切り替え	29
電話機のミュート	30
コールのモニタと録音	30
コールの保留	30
アクティブコールと保留コールの切り替え	30
新しいコールへの応答とコールの保留	31
保留復帰通知への応答	31
共有回線が保留中かどうかの確認	31
リモート回線の保留	31
折返し通知の設定	32
コールパーク	32
処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパーク	32
手動ダイレクトコールパークを使用したコールのパーク	33
インターコムコールの管理	33
専用インターコムコールの発信	34
ダイヤル可能なインターコムコールの発信	34
インターコムコールの受信	35

電話の情報の表示	35
Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルへのログイン	36
連絡先	37
社内ディレクトリ	37
連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	37
コール中の検索およびダイヤル	38
パーソナルディレクトリ	39
パーソナルディレクトリ エントリの追加	39
パーソナルディレクトリ エントリの編集	39
パーソナルディレクトリのエントリの削除	40
パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト	40
パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル	40
パーソナルディレクトリのエントリの検索	41
ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ	41
ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て	41
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	42
ファストダイヤルコードの削除	42
Cisco WebDialer	42
Cisco WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用	43
Cisco WebDialer の設定の変更	43
Cisco WebDialer からのログアウト	44
通話履歴	45
通話履歴の概要	45
通話履歴の表示	46
コール レコードの詳細の表示	46
通話履歴のフィルタ	46
通話履歴からのダイヤル	47
電話番号の編集	47
通話履歴のクリア	48
コール レコードの削除	48
ボイスメール	49
ボイスメールの概要	49

ボイス メッセージの確認	49
ボイスメールへのアクセス	50
ボイス メッセージの聞き取り	50
コール機能	51
会議	51
会議への第三者の追加	52
複数のコールを接続して会議を実行	52
会議実行前のコール間の切り替え	52
会議参加者の表示	53
会議参加者の削除	53
ミーティング	53
ミーティングの開催	54
ミーティングへの参加	54
スピードダイヤル	54
ポーズ入り短縮ダイヤル	55
スピードダイヤル コードを使用したコールの発信	56
Multilevel Precedence and Preemption	56
ログインを必要とするプライオリティ コールの発信	58
ログインなしでのプライオリティ コールの発信	58
サイレント	58
DND のオン/オフの切り替え	59
回線ステータス	59
迷惑呼 ID	60
不審なコールのトレース	60
Cisco エクステンション モビリティ	60
エクステンション モビリティの有効化	61
モバイル コネクト	61
モバイル コネクトの有効化	62
デスクの電話機からすべてのリモート接続先に対するモバイルコネクトの有効化 または無効化	62
デスクの電話機のコールを携帯電話に切り替える	62
携帯電話のコールをデスクの電話機に切り替える	63

携帯電話からデスクの電話機へのコールのハンドオフ	63
ハントグループ	63
ハントグループへのログインおよびログアウト	63
キューの統計情報の表示	64
C 割込	64
共有回線の会議への参加	64
エクステンションモビリティ	64
エクステンションモビリティの有効化	65
高度な操作	67
コール機能	67
エージェントグリーティング	67
応答	67
クライアント識別コード	68
強制承認コード	68
セキュア通知トーンと非セキュア通知トーン	69
共有回線	69
機能ボタンとソフトキー	70
Survivable Remote Site Telephony の概要	72
設定	75
明るさの調整	75
ヘッドセットの側音の調整	75
呼出音の変更	76
回線の設定	77
電話機サービス	77
よくある質問	79
よくある質問	79
トラブルシューティング	81
会議ボタンとソフトキーが反応しない	81
ミーティング会議のビジー音	81
パーソナルディレクトリにログインできない	82
リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない	82
セルフケアポータルにアクセスできない	83

- セキュリティ エラー メッセージ 83
- 製品の安全性およびセキュリティ 85
 - 安全性と性能に関する情報 85
 - 停電 85
 - 外部デバイス 85
 - Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス 86
 - 電源について 86
 - FCC 適合性宣言 86
 - FCC Part 15.21 適合性宣言 87
 - FCC RF 被曝に関する宣言 87
 - FCC 受信機およびクラス B デジタル装置の適合性宣言 87
 - シスコ製品のセキュリティの概要 87
- 保証 89
 - シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 89



第 1 章

はじめに

- [アクセシビリティ機能, 1 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7821, 1 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7841, 6 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7861, 12 ページ](#)
- [電力要件, 16 ページ](#)
- [省電力および Power Save Plus, 16 ページ](#)
- [追加情報, 17 ページ](#)

アクセシビリティ機能

Cisco IP Phone 7821、7841、および 7861 には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザのためのアクセシビリティ機能があります。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps13220/products_feature_guides_list.html を参照してください。

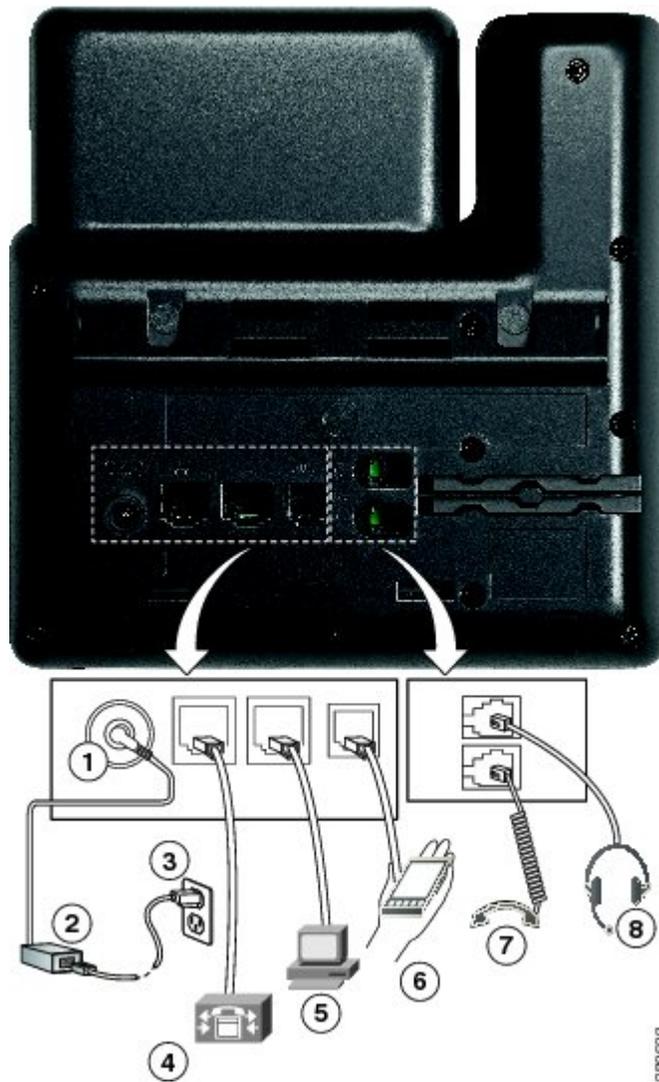
アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

Cisco IP Phone 7821

電話機の接続部

電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。



1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)	5	アクセス ポート (10/100 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)

ボタンとハードウェア



1	ハンドセットのランプ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
---	------------	---

2	<p>プログラマブル機能ボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン。回線ステータススピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（個人用アドレス帳ボタンなど） • コール機能（たとえばプライバシーボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール • 緑、点滅：保留コール • オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中 • オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤、点滅：リモート回線が保留中
3	電話スクリーン	<p>ディレクトリ番号、アクティブコールと回線ステータス、通話時間、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。</p>
4	<p>ソフトキーボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキーオプションが電話スクリーンに表示されます。</p>
5	<p>ナビゲーションと選択ボタン</p> 	<p>ナビゲーションと選択ボタンを使用して、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりすることができます。</p>
6	<p>保留/復帰ボタン</p> 	<p>アクティブコールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p>

7	会議ボタン 	会議コールを開始します。
8	転送ボタン 	コールを転送します。
9	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します
10	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
12	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、通話履歴、ユーザの環境設定、電話機設定、アクセサリ、加入している電話サービス、電話機のモデル情報にアクセスします。

16	メッセージ ボタン 	ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします（システムによって異なります）。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン

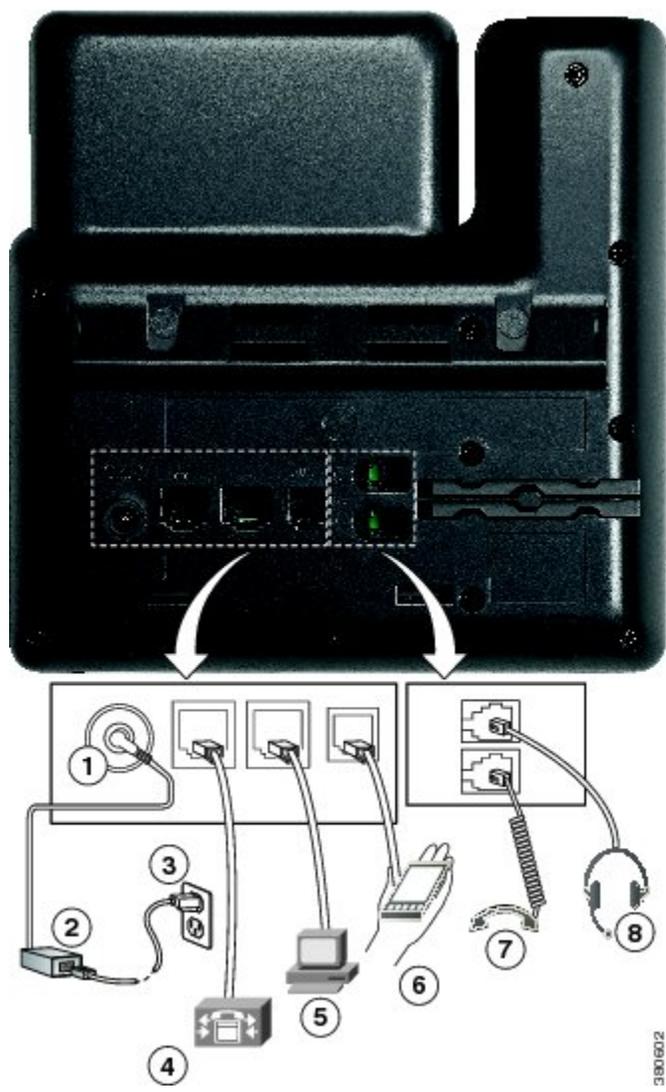


1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

Cisco IP Phone 7841

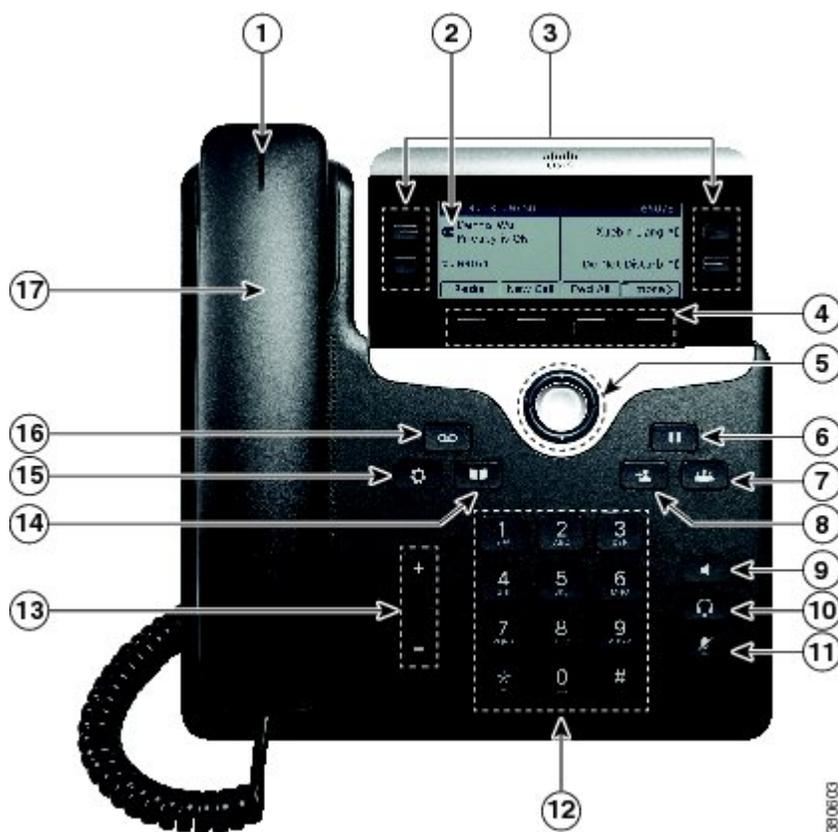
電話機の接続部

電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。



1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100/1000 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)

ボタンとハードウェア



1	ハンドセットのランプ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
---	------------	---

2	<p>プログラマブル機能ボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン。回線ステータススピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（個人用アドレス帳ボタンなど） • コール機能（たとえばプライバシーボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール • 緑、点滅：保留コール • オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中 • オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤、点滅：リモート回線が保留中
3	電話スクリーン	<p>ディレクトリ番号、アクティブコールと回線ステータス、通話時間、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。</p>
4	<p>ソフトキーボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキーオプションが電話スクリーンに表示されます。</p>
5	<p>ナビゲーションと選択ボタン</p> 	<p>ナビゲーションと選択ボタンを使用して、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりすることができます。</p>
6	<p>保留/復帰ボタン</p> 	<p>アクティブコールを保留にしたり、保留コールを再開したりします。</p>

7	会議ボタン 	会議コールを開始します。
8	転送ボタン 	コールを転送します。
9	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します
10	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
12	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。

16	メッセージ ボタン 	ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします（システムによって異なります）。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン

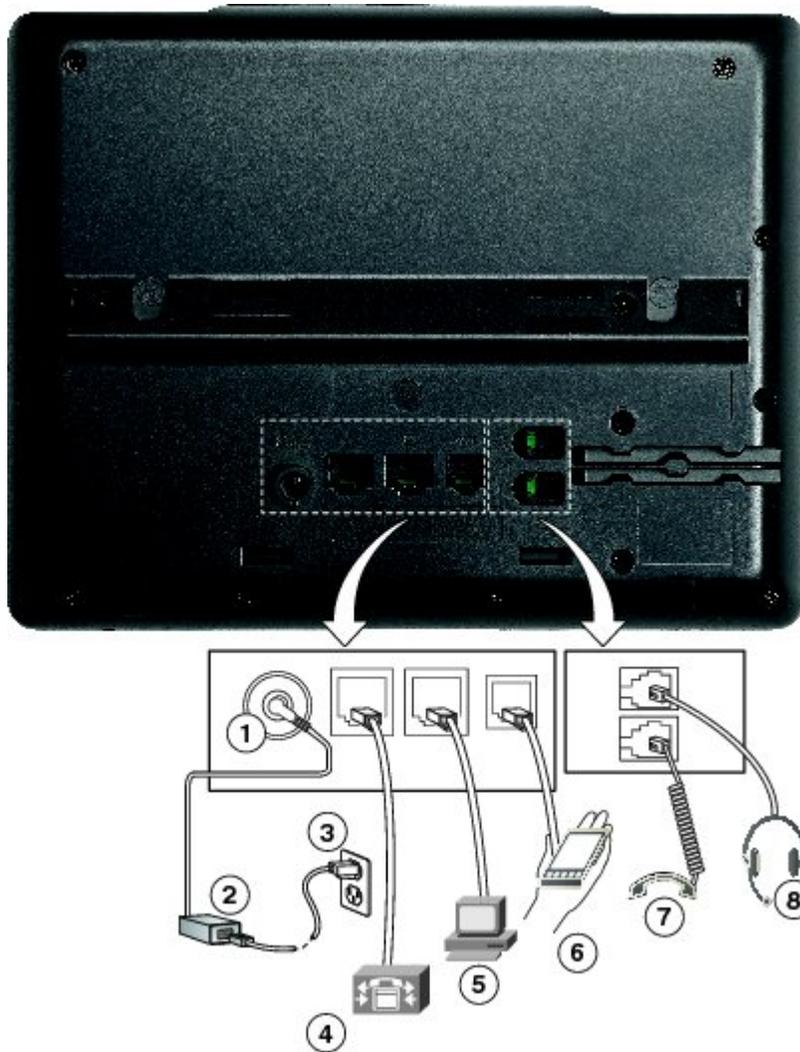


1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線テキスト ラベルとアイコン	設定に応じて、電話またはインターコム回線、スピードダイヤル番号、サービスのテキスト ラベルとアイコンが表示されます。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話機情報	プライマリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話機情報	セカンダリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
5	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

Cisco IP Phone 7861

電話機の接続部

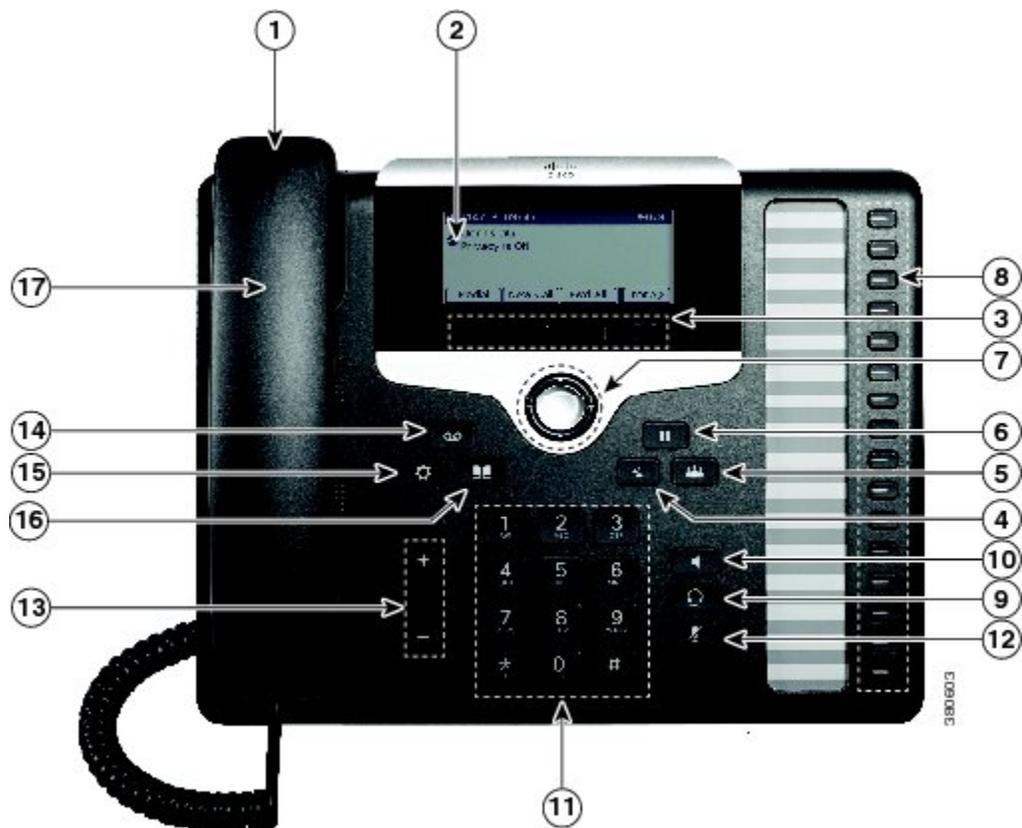
電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ハンドセットの接続

4	ネットワークポート（10/100 SW）の接続（IEEE 802.3af 電源対応）	8	アナログヘッドセットの接続（オプション）
---	--	---	----------------------

ボタンとハードウェア



1	ハンドセットのランプ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブコールと回線ステータス、通話時間、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキーオプションが電話スクリーンに表示されます。

4	転送ボタン 	コールを転送します。
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留/復帰ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留コールを再開したりします。
7	ナビゲーションと選択ボタン 	ナビゲーションと選択ボタンを使用して、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりすることができます。
8	プログラマブル機能ボタン 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタンを押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン。回線ステータス スピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） • コール機能（たとえばプライバシー ボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール • 緑、点滅：保留コール • オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中 • オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤、点滅：リモート回線が保留中

9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。アプリケーション ボタンを使用して、通話履歴、ユーザの環境設定、電話機設定、アクセサリ、加入している電話サービス、電話機のモデル情報にアクセスします。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	コール中は、アクティブな回線の詳細が表示されます。コール中でない場合は、回線テキストラベルと、発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどの情報が表示されます。
3	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

電力要件

Cisco IP Phone 7821、7841、および 7861 では、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社アダプタ (PSC18U-480) : 定格 : 48 VDC 0.38A
- Delta 社アダプタ (EADP-18VB B) : 定格 : 48 VDC 0.375A

省電力および Power Save Plus

システム管理者が設定できる省エネモードには、2つのレベルがあります。

- 省電力：使用していない状態で一定の時間が経つと電話機の表示が消えて、必要な電力が削減されます。
- Power Save Plus：電話機の表示が消えて、あらかじめ決められた時刻に電話機がオフおよびオンになります。これにより、電話機に供給される電力が大幅に削減されます。

節電

システム管理者が行った電話機の設定によっては、電話機のディスプレイが省電力モードになる（電話スクリーンに何も表示されない）場合があります。

電話機のディスプレイをオンにするには、任意のボタンを押すか、何も表示されていない電話スクリーンに指で触れるか、ハンドセットを取り上げます。

Power Save Plus

ご使用の電話機では、Power Save Plus と呼ばれる、Cisco EnergyWise (EW) プログラムがサポートされています。システム管理者は、節電のために電話機のスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。電話機が Power Save Plus モードになると、選択ボタンが白く点灯します。

スケジュールされたスリープ時刻の10分前になると、選択ボタンが点灯し、特定の時刻に電話機の電源がオフになることを示すメッセージが表示されます。システム管理者によって有効にされている場合は、再生される呼出音も聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの10分前に、呼出音が4回再生される
- 電源オフの7分前に、呼出音が4回再生される
- 電源オフの4分前に、呼出音が4回再生される
- 電源オフの30秒前に、呼出音は、15回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生される

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がまもなくオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話をアクティブのままにするには、メッセージの [OK] を押すか、電話機の任意のキーを押す必要があります。ボタンおよびいずれのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がまもなくオフになることを通知するメッセージが表示されます。

電話機がスリープ状態になったときに電話機を復帰させるには、選択を押します。電話機が一定期間非アクティブになっていると、電話機の電源がまもなくオフにされることを通知するメッセージが表示されます。設定されている復帰時間になると電話機の電源がオンになります。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

追加情報

- 次の URL で Cisco Web サイトにアクセスできます。
<http://www.cisco.com/>
- Cisco IP Phone 7821、7841、および 7861 ユーザ マニュアル

http://www.cisco.com/en/US/products/ps13220/tsd_products_support_series_home.html

- ライセンス情報 :

http://www.cisco.com/en/US/products/ps13220/products_licensing_information_listing.html

- 各国のシスコ Web サイト :

Web ページ (www.cisco.com) 上部の [Japan [変更]] リンクをクリックすると、各国のシスコ Web サイトにアクセスできます。

- イーサネット ケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone のすべての機能を使用できます。イーサネット ポートに Power over Ethernet (PoE) が装備されている場合、Cisco IP Phone の電源を LAN ポートから供給することができます。LAN イーサネット ケーブルは建物の外部まで延長しないでください。



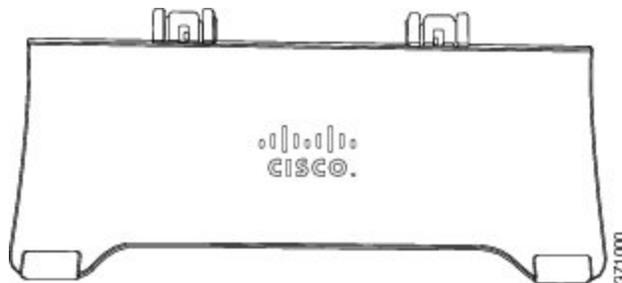
第 2 章

電話機の設定

- [フットスタンドの接続, 19 ページ](#)
- [ハンドセット受け台の調整, 20 ページ](#)

フットスタンドの接続

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けてください。

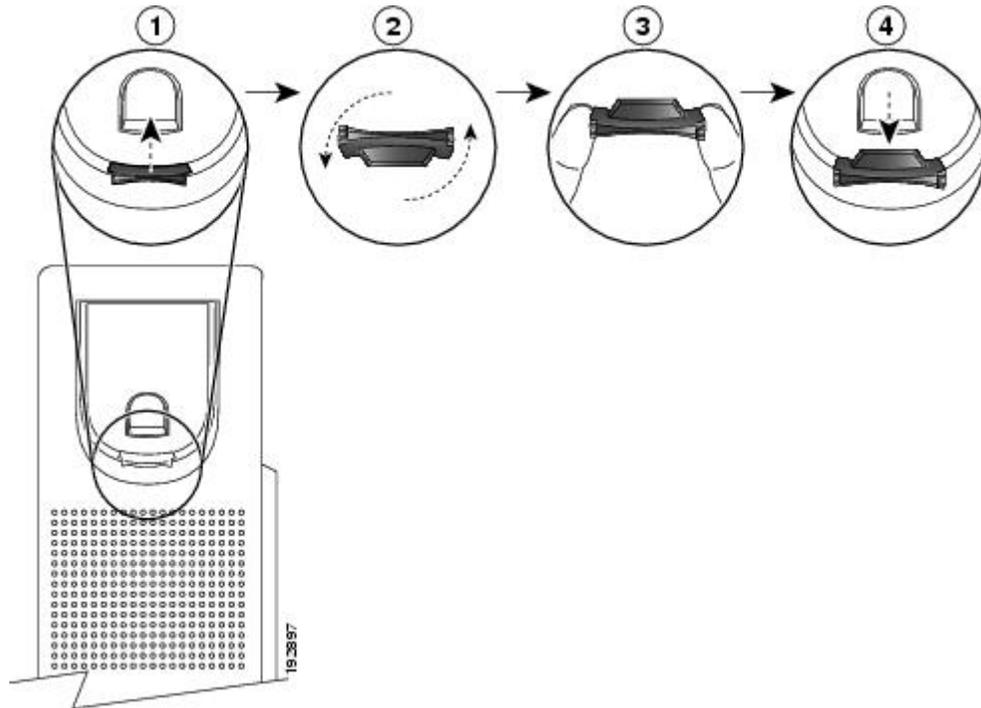


手順

-
- ステップ 1** 曲線状のコネクタを下のスロットに差し込みます。
- ステップ 2** コネクタが上のスロットにはまるまで、フットスタンドを持ち上げます。
- (注) フットスタンドの取り付けおよび取り外しには、予想よりも若干強い力が必要な場合があります。
-

ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、ハンドセットが受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



手順

-
- ステップ1 ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
 - ステップ2 タブを 180 度回します。
 - ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
 - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
 - ステップ5 ハンドセットを受け台に戻します。
-



第 3 章

基本操作

- [電話スクリーンのクリーニング, 21 ページ](#)
- [コールの発信, 22 ページ](#)
- [コールの応答, 24 ページ](#)
- [コールへの自動応答, 26 ページ](#)
- [コール待機通知への応答, 27 ページ](#)
- [コールの管理, 28 ページ](#)
- [電話機のミュート, 30 ページ](#)
- [コールのモニタと録音, 30 ページ](#)
- [コールの保留, 30 ページ](#)
- [折返し通知の設定, 32 ページ](#)
- [コールパーク, 32 ページ](#)
- [インターコム コールの管理, 33 ページ](#)
- [電話の情報の表示, 35 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルへのログイン, 36 ページ](#)

電話スクリーンのクリーニング

タッチスクリーン以外の電話機のディスプレイは簡単にクリーニングできます。

手順

画面は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

注意 電話機のディスプレイを拭くときは、必ず乾いた柔らかい布を使用してください。液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

コールの発信

番号のプレダイヤル

電話機がオンフックになっている場合は、ダイヤルトーンを聞かずに番号をダイヤルすることができます。このダイヤルアクションを「プレダイヤル」と呼びます。

手順

-
- ステップ 1** キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行してオフフックにします。
- ハンドセットを持ち上げる。
 - [コール] を押します。
 - ハンドセット  を押します。
 - スピーカフォン  を押します。
-

スピーカフォンによるコールの発信

管理者は、スピーカフォンが無効になるように電話機を設定できます。スピーカフォンが無効である場合、ソフトキーはグレー表示されるか、空白になります。

手順

-
- ステップ 1** スピーカフォン  を押します。
- ステップ 2** 番号を入力します。
-

ヘッドセットによるコールの発信

手順

-
- ステップ1** [発信] を押します。
- ステップ2** ヘッドセット ボタンが点灯していることを確認します。ヘッドセット ボタンが点灯していない場合は、ヘッドセット  を押します。
- ステップ3** 番号を入力します。
-

コールのリリースと別のコールの開始

アクティブ コールで通話中またはダイヤル中にコールをリリースすると、次の動作が発生します。

- アクティブ コールが終了します。
- 電話機からダイヤル トーンが聞こえます。
- 新しいコールをダイヤルできます。

手順

-
- ステップ1** アクティブ コールを実行している場合は[コールの終了]を押すか、ダイヤル中は[キャンセル]を押します。
- ステップ2** 目的の番号を入力し、[コール]を押します。
-

国際番号のダイヤル

プラスダイヤルでは、1秒以上アスタリスク (*) キーを押し続けると、電話番号の1桁目として国際電話用のプラス (+) 記号が挿入されます。プラス記号は、オンフックまたはオフフックのコールのみに適用されます。

+ 記号が付いた電話番号が表示されたら、国際コール用の数字を追加せずに、そのエントリを選択してダイヤルできます。

手順

-
- ステップ 1** アスタリスク (*) を 1 秒以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。対応するトーンが停止しますが、これは * が + 記号に変わったことを示します。
- ステップ 2** 番号を発信します。
-

番号のリダイヤル

リダイヤルでは、最後にダイヤルした電話番号を発信できます。

手順

-
- ステップ 1** 任意の電話回線でコールを発信するには、[リダイヤル] を押します。
- ステップ 2** 特定の電話回線でコールを発信するには、その回線を選択してダイヤルトーンを確認し、[リダイヤル] を押します。
-

コールの応答

システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に応じて応答ボタンを設定します。通常、応答ボタンは複数の回線がある場合に設定されています。

通話中に別のコールが着信した場合、電話スクリーンに通知ウィンドウが表示されます。この通知ウィンドウは、コール トーストと呼ばれます。コール トーストは、プリセットした時間、表示されたままになります。別の電話機からコール転送された着信コールの場合は、転送されたコールであることを示す追加の情報がコール トーストに含まれることがあります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** 次のいずれかの操作を実行します。
- [ピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ内で鳴っているコールを自分の電話機に転送します。

- 回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [ピックアップ] を押します。

ステップ2 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

グループピックアップとグループピックアップ番号を使用したコールの応答

手順

ステップ1 次のいずれかの操作を実行します。

- [グループピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ外の電話機でコールに応答します。
- 回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [グループピックアップ] を押します。

ステップ2 グループピックアップ番号を入力します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

グループピックアップおよび電話番号を使用したコールの応答

手順

ステップ1 次のいずれかの操作を実行します。

- [グループピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ外の電話機でコールに応答します。
- 回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [グループピックアップ] を押します。

ステップ2 目的のコールの電話回線の番号を入力します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

その他のピックアップを使用したコールへの応答

手順

-
- ステップ 1** [他Grp] を押して、自分のピックアップ グループ内または関連付けられているグループ内のコールを自分の電話機に転送します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

コールへの自動応答

呼出音が 1 回鳴った後、電話機で着信コールに自動的に応答することができます。管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットで動作するように自動応答を設定します。詳細については、管理者に連絡してください。

次の条件が適用される場合、着信コールにヘッドセットで自動応答します。

- ヘッドセットによる自動応答は、システム管理者が有効にします。
- ヘッドセットが電話機に接続されていて、電話スクリーンにヘッドセットアイコンが表示されています。

その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るため、手動でそのコールに応答します。

電話スクリーンにヘッドセットアイコンが表示されている場合は、[ヘッドセット] ボタンを使用してコールを発信および終了できます。システム管理者は、ヘッドセットを自動応答のデフォルトオーディオパスとして設定します。

着信コールにスピーカフォンで自動応答させるには、ハンドセットを受け台に置いたまま、ヘッドセットを電話機から外します。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

手順

-
- ステップ 1** ヘッドセットを使用してコールに自動応答するように電話機を設定している場合は、次の点に注意してください。
- a) ヘッドセットを使用してコールに自動的に応答するには、電話機を次の方法で準備します。
- ヘッドセットと電話機が接続されていることを確認します。
 - 画面の左側にヘッドセットアイコンがあることを確認します。

着信したコールには自動的に応答されます。発信者とはヘッドセットを使用して対話します。

- b) コールを終了または開始するには、ヘッドセット ボタン  を使用します。
- c) ヘッドセットでコールに自動応答しない場合は、スピーカフォン ボタン  を2回押してヘッドセットをオフにし、スピーカフォンを使用してコールを開始またはコールに応答します。

ステップ2 スピーカフォンを使用してコールに自動応答するように電話機を設定している場合は、次の点に注意してください。

- a) スピーカフォンで使用するコールに自動的に応答するには、電話機を次の方法で準備します。
 - 画面の左側にヘッドセットアイコンがないことを確認します。
 - ハンドセットを受け台に乗せたままにします。

着信したコールには自動的に応答されます。発信者とはスピーカフォンを使用して対話します。

- b) スピーカフォンでコールに自動応答しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

コール待機通知への応答

この機能は、電話機が複数回線をサポートしている場合にのみ使用できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

ステップ1 次のいずれかの操作を実行して、コール待機に応答します。

- 回線ボタンを押して、着信コールが1つの場合はそれに応答し、着信コールが複数ある場合は全コールのリストを表示します。
- コールが同じ回線上にある一方で表示されない場合は、スクロールしてセッションを表示します。
- 機能ボタン（有効な場合）を押します。

ステップ2 オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。
電話機によって元のコールが自動的に保留され、鳴っているコールが接続されます。

コールの管理

コールの即転送

即転送を使用すると、アクティブなコールまたは呼び出し中のコールを、自分のボイスメールシステムや所定の電話番号に送信できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

着信（呼び出し中の）コールをサイレントにできます。音量ダウンボタンを1回押すと、着信コールを転送先番号（ボイスメールや、システム管理者が事前に定義した番号）に転送できます。

手順

-
- ステップ 1** 別のコールの間に着信コール（呼び出し中のコール）をリダイレクトするには、その着信コールを強調表示してから [即転送] を押します。それ以外の場合は、[即転送] を押して、現在のアクティブ コールをリダイレクトします。
 - ステップ 2** 電話中でないときに着信コールをリダイレクトするには、[即転送] を押します。
 - ステップ 3** 保留中のコールをリダイレクトするには、まずコールを再開してから、[即転送] を押します。
-

すべてのコールの転送

手順

-
- ステップ 1** コールの転送元であるプライマリ回線で [不在転送] を押します。
 - ステップ 2** 電話番号を入力するか、[通話履歴] リストからエントリを選択します。
 - ステップ 3** [メッセージ] を押して、すべてのコールをボイスメールに転送します。
(注) コール転送がアクティブな場合は、回線ラベルに [不在転送] アイコンが表示されるか、回線ディレクトリ番号 (DN) に転送情報が表示されます。
 - ステップ 4** コール転送をキャンセルするには、[不在オフ] を押します。
(注) セルフ ケア ポータルで、条件付きのコール転送を設定できます。
-

関連トピック

[Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルへのログイン](#), (36 ページ)

別の番号へのコールの転送

転送を使用すると、接続したコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。

- 1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。
- 自分で回線を維持することなく、2つのコールを接続できます。

手順

-
- ステップ 1** 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ 2** [転送]  を押します。
 - ステップ 3** 転送先の電話番号を入力します（または、スピードダイヤルボタンを押します）。
 - ステップ 4** 受信者の応答を待つか、またはコールの呼び出し中にステップ 5 に進みます。
 - ステップ 5** 再度 [転送]  を押します。
-

コール間の切り替え

転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。

- 1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。
- 1つの回線または2つの異なる回線にある2つのコールを（自分自身は回線上に留まることなく）相互に接続することもできます。

転送手続きを完了する前に [キャンセル] を押すと、その転送をキャンセルできます。[切替] を押して複数のコールを切り替え、それぞれの通話相手だけと通話することもできます。

手順

-
- ステップ 1** コール中に、転送先の相手に接続します。
 - ステップ 2** 元のコールに戻るには [切り替え] を押します。
転送を完了する前に、各個人と個別に相談できます。
-

電話機のミュート

ミュートを使用すると、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にこちらの声は聞こえません。

手順

-
- ステップ1 ミュートをオンにするには、ミュート  を押します。
- ステップ2 もう一度ミュート ボタンを押すと、ミュートはオフになります。
-

コールのモニタと録音

コールをモニタおよび録音するように電話機を設定する場合は、システム管理者にお問い合わせください。

コールの保留

保留によってアクティブな通話を保留状態にすることができます。電話機では一度に1つのアクティブな通話のみ可能です。他の通話は保留にされます。保留は、電話機のハンドセットに加え、USB ヘッドセットでも使用できます。

手順

アクティブ コールの実行中に [保留] を押します。

アクティブ コールと保留コールの切り替え

回線ボタンを使用して、保留コールと接続コールを切り替えることができます。

手順

保留コールとアクティブ コールがある場合、保留コールの回線ボタンを押すと保留コールが再開され、もう1つのコールが自動的に保留になります。

新しいコールへの応答とコールの保留

すでに電話中の状態で新しいコールを受信する場合、新しいコールに応答すると、最初のコールは自動的に保留されます。

手順

-
- ステップ 1** オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。
- ステップ 2** ナビゲーションクラスタと選択ボタンを使用して新しいコールに移動し、[応答] または [選択] を押します。
-

保留復帰通知への応答

保留復帰では、コールが保留中のままになっていることを通知します。

保留復帰通知は、新規コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 1 回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答] を押して、保留中のコールを復帰します。

共有回線が保留中かどうかの確認

共有回線のコールが他のユーザによってリモートで保留されている場合、赤色で点滅している回線ボタンと保留アイコンが表示されます。

リモート回線の保留

共有回線の使用中にコールを保留すると、回線ボタンが緑色で点滅し、電話機に保留アイコンが表示されます。他の電話機でコールが保留されると、回線ボタンが赤色で点滅し、電話機にリモート回線の保留アイコンが表示されます。

折返し通知の設定

手順

-
- ステップ 1** ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。
- ステップ 2** [キャンセル]を押すと、折返しが無効になります。
- ステップ 3** [終了]を押すと、折返しがアクティブになります。
-

コールパーク

コールパーク機能では、電話機を使用してコールをパーク（一時保存）し、そのコールを別の電話機（たとえば、同僚のデスクや会議室の電話機など）から取得できます。

コールをパークするには、次の2つの方法があります。

- [パーク]: 電話機で応答したアクティブ コールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。
- [ダイレクトコールパーク]: 次の2つの異なる方法でアクティブ コールをパークおよび取得できます。
 - 処理されたダイレクトコールパーク: 機能ボタンを使用して、アクティブ コールをパークできます。
 - 手動ダイレクトコールパーク: アクティブ コールをダイレクトコール番号に転送することで、アクティブ コールをパークすることができます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

所定の時間内にコールを取得または再開できなかった場合、そのコールは（システム管理者が設定した）ボイスメールなどの他の接続先に送信されます。コールがリダイレクトされると、そのコールはコールパークを使用して取得できなくなります。

手順

-
- ステップ 1** コール中に、アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示している回線の[ダイレクトコールパーク]を押します。
- ステップ 2** 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco IP Phone からコールを取得します。

- a) パーク取得用プレフィックスを入力します。
- b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。

ステップ3 システム管理者が設定した時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。その場合は、次の操作を実行します。

- [復帰] を押し、電話機でコールを再開する。
- 別の電話機からコールを取得する。

手動ダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

- ステップ1** コール中に [転送]  を押します。
- ステップ2** コールをパークするダイレクトコール番号を入力します。
- ステップ3** もう一度 [転送] を押して、コールのパークを終了してから切断します。
- ステップ4** 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco IP Phone からコールを取得します。
 - a) パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。
- ステップ5** システム管理者が設定した時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。その場合は、次の操作を実行します。
 - [復帰] を押し、電話機でコールを再開する。
 - 別の電話機からコールを取得する。

インターコムコールの管理

インターコムでは、専用またはダイヤル可能なインターコム回線を使用して、一方向のコールを送受信できます。

インターコムコールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパーモード）になって自動応答し、受信者のスピーカフォンまたはヘッドセット（これらのいずれかのデバイスを使用中の場合）からメッセージをブロードキャストします。

インターコムコールを受信した受信者は、回線ボタンを押すことで双方向オーディオ（接続モード）を開始し、会話を継続することができます。

専用インターコム コールの発信

インターコムでは、専用またはダイヤル可能なインターコム回線を使用して、一方向のコールを送受信できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパー モード）になって自動応答し、受信者のスピーカフォン、ヘッドセット、またはハンドセット（これらのいずれかのデバイスを使用中の場合）からメッセージをブロードキャストします。

インターコム コールを受信すると、受信者は双方向オーディオ（接続モード）を開始して、会話を継続できます。

手順

-
- ステップ 1** [インターコム] を押します。
(注) 受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウィスパー モードになります。アクティブ コールがある場合、そのコールは保留されます。
- ステップ 2** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
- ステップ 3** コールを終了するには、[インターコム] を押します。
-

ダイヤル可能なインターコム コールの発信

インターコムでは、専用またはダイヤル可能なインターコム回線を使用して、一方向のコールを送受信できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパー モード）になって自動応答し、受信者のスピーカフォン、ヘッドセット、またはハンドセット（これらのいずれかのデバイスを使用中の場合）からメッセージをブロードキャストします。

インターコム コールを受信すると、受信者は双方向オーディオ（接続モード）を開始して、会話を継続できます。

手順

-
- ステップ 1** [インターコム] を押します。
- ステップ 2** インターコム コードを入力します。
(注) 受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウィスパー モードになります。アクティブ コールがある場合、そのコールは保留されます。
- ステップ 3** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
- ステップ 4** コールを終了するには、[インターコム] を押します。
-

インターコム コールの受信

インターコム コールを受信すると、インターコムのアラート トーンが聞こえ、電話機がコールに自動応答します。現在行っている通話は同時に継続されますが、インターコム の発信者には受信者の声は聞こえません。

インターコム の発信者と会話するには、アクティブなインターコム ボタンを押します。

電話の情報の表示

電話の情報では、次に示す電話機のモデル情報を表示できます。

- モデル番号
- MAC アドレス
- アクティブロード ID
- IP アドレス
- アクティブ サーバ
- スタンバイ サーバ
- Unified Video Advantage
- 最終アップグレード
- バックライト点灯時刻
- バックライト点灯継続時間
- バックライト アイドル時間
- バックライト非点灯日

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [電話の情報] を選択します
- ステップ 3** [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-

Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルへのログイン

この電話機は、自分のパーソナルコンピュータなど、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有することができるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルにログインすることができます。このセルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、設定、およびサービスを制御することができます。たとえば、電話機のディスプレイの言語を管理したり、サービスを設定したりすることができます。また、個人アドレス帳にエントリーを追加したり、スピードダイヤルコードを設定したりすることもできます。

[短縮ダイヤル]、[個人アドレス帳]などのオプションを使用するには、ログインする必要があります。ポータルの使用後は、ログアウトする必要があります。

ログインしなくても Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルにアクセスすることができます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ポータルの使用方法については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_user_guide_list.htmlにある『Cisco Unified Communications Self Care Portal User Guide』を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 システム管理者から、ポータル URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードを取得します。通常のポータル URL は `http://<ip_address or hostname>/ucmuser` です。
 - ステップ 2 コンピュータでブラウザを開き、URL を入力します。
 - ステップ 3 セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
 - ステップ 4 [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
 - ステップ 5 [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
 - ステップ 6 [ログイン] を選択します。
 - ステップ 7 ログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-



第 4 章

連絡先

- [社内ディレクトリ](#), 37 ページ
- [パーソナルディレクトリ](#), 39 ページ
- [ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ](#), 41 ページ
- [Cisco WebDialer](#), 42 ページ

社内ディレクトリ

[社内ディレクトリ]メニューには、電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。システム管理者はこのディレクトリを設定および保守します。

連絡先の検索と連絡先へのダイヤル

手順

- ステップ 1** [連絡先]  を押します。
- ステップ 2** [社内ディレクトリ] を選択します
- ステップ 3** 次のオプションのいずれかを選択します。
- 名
 - 姓
 - 番号
- ステップ 4** 検索条件の情報を入力して [送信] を押し、連絡先を選択します。
- ステップ 5** 次のいずれかの操作を実行します。
- [ダイヤル] を押します。

- [詳細] を押して、ユーザの詳細を確認します。
 - 連絡先のラベル番号を押します。
 - 回線ボタンを押します。
 - スピーカフォン  を押します。
 - ヘッドセット  を押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
-

コール中の検索およびダイヤル

手順

- ステップ 1** [連絡先]  を押します。
- ステップ 2** [社内ディレクトリ] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションのいずれかを選択します。
- 名
 - 姓
 - 番号
- ステップ 4** 検索条件の情報を入力して [送信] を押し、連絡先を選択します。
- ステップ 5** 次のいずれかの操作を実行します。
- [ダイヤル] を押します。
 - [詳細] を押して、ユーザの詳細を確認します。
 - 連絡先ラベルの右上隅に表示されている番号を押します。

(注) 通話している場合は、[スピーカフォン]  または [ヘッドセット]  を押すと、現在のコールを終了します。

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人の連絡先リストが含まれています。ファストダイヤル用に、ファストダイヤルコードを自分のパーソナルディレクトリ エントリへ割り当てられます。

パーソナルディレクトリは、電話機または Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルから設定できます。電話機を使用して、ファストダイヤルコードをディレクトリ エントリに割り当てます。詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_user_guide_list.html にある『Cisco Unified Communications Self Care Portal User Guide』を参照してください。

パーソナルディレクトリ エントリの追加

手順

-
- ステップ1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ4 [送信] を押します。
 - ステップ5 [新規] を押して、名前またはニックネームを入力します。
 - ステップ6 [電話] を押して、電話番号と必要なアクセスコードを入力します。
 - ステップ7 [送信] を押します。
-

パーソナルディレクトリ エントリの編集

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインし、エントリを検索します。
 - ステップ2 エントリを選択します。
 - ステップ3 [編集] を押して名前または電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ4 名前と電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ5 [電話] を押して、電話番号を変更します。
 - ステップ6 [更新] を押します。
-

パーソナルディレクトリのエントリの削除

手順

- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインし、エントリを検索します。
 - ステップ2 エントリを選択します。
 - ステップ3 [編集] を押します。
 - ステップ4 [削除] を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を選択します。
 - ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。
-

パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト

手順

- ステップ1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ] を選択します。
 - ステップ3 ユーザ ID と暗証番号を入力し、[送信] を押します。
 - ステップ4 [ログアウト] を選択し、[選択] を押してから [OK] を押します。
-

パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル

手順

- ステップ1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [パーソナルディレクトリ] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
 - ステップ5 [ダイヤル] を押します。
-

パーソナルディレクトリのエントリの検索

手順

-
- ステップ1** [連絡先]  を押します。
- ステップ2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ3** [個人アドレス帳] を選択します。
- ステップ4** 次のいずれかまたはすべてを選択します。
- 姓
 - 名
 - ニックネーム
- ステップ5** 検索条件の情報を入力して [送信] を押します。
-

ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ

ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリを管理するには、電話機の[連絡先]メニューを使用します。

ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリエントリへの割り当て

手順

-
- ステップ1** [連絡先]  を押します。
- ステップ2** [パーソナルディレクトリ] を選択します。
- ステップ3** [個人アドレス帳] を選択します。
- ステップ4** 名前を入力して [送信] を押します。
- ステップ5** [選択] を押してから [ファスト] を押します。
- ステップ6** 番号を選択し、[選択] を押します。
- ステップ7** 割り当てられていないファストダイヤルインデックスまでスクロールし、[送信] を押します。
-

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。
(注) ファストダイヤルコードをさらに取得するには [次へ] を押します。
 - ステップ4 目的のファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル] を押します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
 - ステップ4 目的のコードを選択して [削除] を押します。
 - ステップ5 インデックスを選択して [削除] を押します。
-

Cisco WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目を選択することで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco IP Phone で発信できます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Cisco WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用

手順

-
- ステップ 1** Cisco WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインします。
- ステップ 2** 目的の名前を検索し、番号を選択します。
- ステップ 3** プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
(注) Cisco WebDialer を初めて使用する場合は、[コールの開始] ウィンドウで設定を確認します。
- ステップ 4** [コール] を選択します。
- ステップ 5** コールが終了したら、[終了] を選択するか、ハンドセットを置きます。
-

Cisco WebDialer の設定の変更

手順

-
- ステップ 1** Cisco WebDialer を使用してコールを開始し、[コールの開始] ウィンドウにアクセスします。
- ステップ 2** [コールの開始] ウィンドウから、次のいずれかのオプションを選択します。
- 優先する言語
 - 優先するデバイス
- ステップ 3** 回線または電話を選択します。
(注) 1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。
同じタイプの電話機が複数ある場合、リストでは、デバイスタイプとMACアドレスによって電話機が識別されます。電話機にMACアドレスを表示するには、[アプリケーション]>[電話の情報]を選択します。
- ステップ 4** エクステンション モビリティ プロファイルを持っている場合、[コールに使用するデバイス] ドロップダウンメニューから [エクステンション モビリティ] を選択します。
- ステップ 5** [コールの確認ダイアログを表示しない] および [自動終了の無効化] を選択してないことを確認します。
(注) [コールの確認ダイアログを表示しない] を選択すると、次に電話機を使うときに、[コールの開始] ウィンドウが表示されません。[自動終了の無効化] を選択すると、[コールの開始] ウィンドウは 15 秒後に自動的に閉じません。
-

Cisco WebDialer からのログアウト

手順

-
- ステップ 1** [コールの開始] または [終了] ウィンドウにアクセスします。
- ステップ 2** [ログアウト] を選択します。
-



第 5 章

通話履歴

- [通話履歴の概要, 45 ページ](#)
- [通話履歴の表示, 46 ページ](#)
- [コールレコードの詳細の表示, 46 ページ](#)
- [通話履歴のフィルタ, 46 ページ](#)
- [通話履歴からのダイヤル, 47 ページ](#)
- [電話番号の編集, 47 ページ](#)
- [通話履歴のクリア, 48 ページ](#)
- [コールレコードの削除, 48 ページ](#)

通話履歴の概要

通話履歴を使用すると、電話機での最近の 150 件のコールに関する情報を表示できます。次のようなコールのタイプを示すコールアイコンが表示されます。

- [不在着信]：最新 50 件の不在着信が表示されます。
- [受信]：最新 50 件の着信が表示されます。
- [発信]：最新 50 件の発信が表示されます。
- [すべて]：不在履歴、着信履歴、発信履歴を含む最新 150 件のコールが表示されます。

コールのタイプを示すコールアイコンが表示されます。コールアイコンとともに発信者 ID が表示されます。発信者 ID が使用できない場合、電話番号が表示されます。電話番号が使用できない場合「不明」と表示されます。すべての通話履歴項目は、日時の新しいものから順に表示されます。

また、通話履歴のリストから直接電話番号をダイヤルできます。

通話履歴の表示

手順

-
- ステップ1 アプリケーションを押します。
 - ステップ2 [通話履歴] を選択します。
 - ステップ3 画面をスクロールし、コールレコードまたはコールグループ（使用可能な場合）を選択します。
 - ステップ4 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-

コールレコードの詳細の表示

手順

-
- ステップ1 コールに接続している場合は、[詳細の表示] を押して [コールの詳細] 画面を表示します。この画面には、通話時間など、単一コールのコール情報が表示され、毎秒更新されます。
 - ステップ2 コールに接続していない場合は、次の手順に従います。
 - a) [アプリケーション]  を押し、[通話履歴] を選択します。
 - b) コールレコードまたはグループを選択し、[詳細] を押します。

(注) コールレコードを表示している場合は、ナビゲーションパッドが強調表示されたままにして、コールの詳細および通話時間を表示できます。
 - c) [戻る] を押して、[通話履歴] 画面に戻ります。
 - d) [終了] を押して、[アプリケーション] 画面に戻ります。
-

通話履歴のフィルタ

手順

-
- ステップ1 [機能]  を押して [通話履歴] を選択します。
 - ステップ2 目的の電話回線を選択し、その回線の個々のコールを表示して、[不在着信] を押します。
 - ステップ3 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-

通話履歴からのダイヤル

電話機がアイドル状態である場合は、ナビゲーションクラスタと選択ボタンを押して、オンフックダイヤル画面を表示します。

電話機がアイドル状態でない場合は、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ1** [機能]  を押して [通話履歴] を選択します。
- ステップ2** ダイヤルするコールレコードを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
- [コール] を押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
 - [詳細] を押します。
 - スピーカフォン  またはヘッドセット  を押します。
 - [選択] を押します。
 - 強調表示されたレコードのインデックス番号を押します。
- ステップ3** 電話機がアイドル状態であるときは、ナビゲーションクラスタと選択ボタンを押して、オンフックダイヤル画面を表示できます。
-

電話番号の編集

手順

-
- ステップ1** [機能]  を押して [通話履歴] を選択します。
- ステップ2** [すべての回線] または必要な回線を押します。
- ステップ3** 編集するコールを選択し、[編集] を押します。
(注) カーソルを右へ移動するには [>>] を押し、左へ移動するには [<<] を押し
ます。
- ステップ4** [編集] を押して、番号を編集します。
- ステップ5** [戻る]  を押して [通話履歴] リストに戻ります。
-

通話履歴のクリア

手順

-
- ステップ1 [機能]  を押して [通話履歴] を選択します。
 - ステップ2 [すべての回線] または目的の回線を選択します。
 - ステップ3 [クリア] を押してから [削除] を押し、通話履歴リストを削除します。
 - ステップ4 [通話履歴] 画面に戻るには、[キャンセル] を押します。
-

コールレコードの削除

手順

-
- ステップ1 [機能]  を押して [通話履歴] を選択します。
 - ステップ2 削除する個々のコールレコードまたはコールグループを強調表示します。
 - ステップ3 [削除] を押して、グループ内の個々のコールレコードまたはすべてのコールを削除します。
 - ステップ4 [削除] を押して、メッセージを削除します。
 - ステップ5 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-



第 6 章

ボイスメール

- [ボイスメールの概要, 49 ページ](#)
- [ボイス メッセージの確認, 49 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス, 50 ページ](#)
- [ボイス メッセージの聞き取り, 50 ページ](#)

ボイスメールの概要

ボイス メッセージは、ボイスメール システムに保存されます。電話機で使用するボイスメール システムは会社が決めます。

ボイスメールサービスでサポートされているコマンドについては、ボイスメールサービスのユーザ マニュアルを参照してください。

ボイス メッセージの確認

手順

ステップ 1 次の視覚的なインジケータを探します。

- ハンドセットの赤いランプの点灯。セルフ ケア ポータルを使用して、ビジュアル メッセージ受信ランプを設定します。
- 回線上のメッセージアイコン 。新しいボイスメッセージの数が 99 を超えると、メッセージ数の代わりに「99+」記号が表示されます。

ステップ 2 コールを発信する際に、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえるか確認します（有効な場合）。断続トーンは回線特有のもので、新しいボイスメッセー

ジがある回線を使用する場合にのみ聞こえます。セルフ ケア ポータルを使用して、オーディオメッセージ受信トーンを設定することができます。

関連トピック

[Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルへのログイン](#), (36 ページ)

ボイスメールへのアクセス

手順

- ステップ 1** メッセージ  を押します。
- ステップ 2** 音声プロンプトに従います。
-

ボイス メッセージの聞き取り

手順

- ステップ 1** ボイス メッセージを聞くには、次の操作のいずれかを実行します。
- メッセージ  を押します。
 - 回線ボタンを押してから、ボイスメール  を押します。
- ステップ 2** プロンプトに従ってボイス メッセージを聞きます。
-



第 7 章

コール機能

- [会議, 51 ページ](#)
- [ミートミー会議, 53 ページ](#)
- [スピードダイヤル, 54 ページ](#)
- [Multilevel Precedence and Preemption, 56 ページ](#)
- [サイレント, 58 ページ](#)
- [回線ステータス, 59 ページ](#)
- [迷惑呼 ID, 60 ページ](#)
- [Cisco エクステンション モビリティ, 60 ページ](#)
- [モバイルコネクト, 61 ページ](#)
- [ハントグループ, 63 ページ](#)
- [C 割込, 64 ページ](#)

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。

コール中に、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、その相手をコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、会議を使用して、2つの回線をまたぐ2つのコールを結合できます。

会議手続きを完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押すと、その手続きをキャンセルできます。また、[切替] ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話することもできます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。

会議への第三者の追加

手順

-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 [会議] を押します。
 - ステップ3 追加する通話相手の電話番号を入力します（または、スピードダイヤル ボタンを押します）。
 - ステップ4 相手の応答を待つか、またはコールの呼び出し中にステップ5に進みます。
 - ステップ5 もう一度[会議] を押します。
会議が開始されます。
 - ステップ6 （オプション） 必要に応じてこれらの手順を繰り返し、通話相手をさらに追加します。
-

複数のコールを接続して会議を実行

はじめる前に

このタスクを実行するには、複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ1 接続しているコールが2つあり、そのうち1つのコールがアクティブである（保留されていない）ことを確認します。
 - ステップ2 [会議] を押します。
 - ステップ3 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。保留コールが複数ある場合、コールのリストが表示されます。
会議が開始されます。アクティブ コールがある回線上で会議が確立されます。
-

会議実行前のコール間の切り替え

別の人を会議に追加する前に、会議およびその人と個別に相談できます。

手順

-
- ステップ1 新しい会議参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。
 - ステップ2 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替] を押します。
-

会議参加者の表示

会議に参加した過去 16 人の参加者の詳細を表示できます。

手順

会議中に、[詳細] を押して参加者のリストを表示します。

(注) 別の相手に発信し、発信した相手が別の電話で会議を作成すると、会議を作成した人に対する [詳細] ソフトキーのみが表示されます。

会議参加者の削除

手順

-
- ステップ1 会議中に [詳細] を押して、参加者のリストを表示します。
 - ステップ2 削除する参加者を強調表示してから、[削除] を押します。
-

ミーティング

ミーティングを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号へコールしてミーティングを開催したり、ミーティングに参加したりできます。

ミーティングは、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミートミー会議の開催

手順

-
- ステップ1 システム管理者からミートミー電話番号を入手します。
 - ステップ2 参加者にミートミー電話番号を配布します。
 - ステップ3 会議を開始する準備ができたなら、ハンドセットを取り上げてダイヤルトーンを聞き、[ミートミー]を押します。
 - ステップ4 ミートミー電話番号をダイヤルします。
-

ミートミー会議への参加

手順

-
- ステップ1 会議のホストが提供したミートミー電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 ビジートーンが聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。この場合は、コールを終了して、再試行してください。
-

スピードダイヤル

スピードダイヤルでは、ボタンを押すかプリセットしたコードを入力するだけでコールを発信できます。電話機でスピードダイヤル機能を使用する前に、セルフケアポータルでスピードダイヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のようなスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤルボタン：スピードダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから電話番号をすばやくダイヤルできます。
- システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータスインジケータを使用してスピードダイヤル回線のステータスをモニタリングできます。

関連トピック

[Cisco Unified Communications セルフケアポータルへのログイン](#), (36 ページ)

ポーズ入り短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、強制承認コード (FAC)、クライアント識別コード (CMC)、ダイヤル中のポーズ、または付加的なディジット (ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど) を必要とする接続先にダイヤルできます。設定済みの短縮ダイヤルを押すと、電話機は接続先番号とのコールを確立し、ダイヤル中のポーズを入れて、指定された FAC、CMC、および付加的なディジットを送信します。

ダイヤル中のポーズを短縮ダイヤルに含めるには、短縮ダイヤル文字列の一部としてカンマ (,) を含めます。このカンマは、2 秒間のポーズを指定します。このポーズは、FAC および CMC を短縮ダイヤル文字列のその他のディジットと分離するためにも使用できます。



(注) 短縮ダイヤル文字列に FAC および CMC を含めるときは、以下の要件に注意してください。

- 短縮ダイヤル文字列では、FAC が常に CMC よりも前に来る必要があります。
- FAC および DTMF のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。
- 文字列内で FAC と CMC のディジットの間に入力できるカンマは 1 つだけです。

文字列に含める各カンマは、追加の 2 秒間のポーズを表します。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。



(注) 短縮ダイヤルを設定する前に、指定したディジットを少なくとも 1 回手動でダイヤルしてみ、ディジットシーケンスが正しいことを確認してください。

電話機では、短縮ダイヤルの FAC、CMC、および付加的なディジットは通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使用して接続先に接続した後で [リダイヤル] を押すと、電話機に、必要な FAC、CMC、または DTMF のディジットを手動で入力するプロンプトが表示されます。

例 1

ボイスメールにアクセスするための次の要件を考えます。

- ボイスメールにアクセスする着信者番号：8000
- 暗証番号：123456# (2 秒の案内後)
- ボイスメール応答：6 秒間のポーズ (自動アナウンスが選択可能なオプションをリストする期間) 後にオプション 3 を入力して最新メッセージを参照します

このボイスメールボックスにアクセスする短縮ダイヤルを設定するには、次の短縮ダイヤル文字列を指定します。

8000,123456#,,,3

例 2

次のコール要件を考えます。

- 着信者番号 : 95556543
- FAC : 1234
- CMC : 9876
- コールが接続されてから 4 秒後に必要な、自動化された電話機システムの応答 : 56789#

この接続先にアクセスするには、次の短縮ダイヤル文字列を指定します。

95556543,1234,9876,,56789#

スピードダイヤルコードを使用したコールの発信

電話機でスピードダイヤルコードを使用する前に、セルフ ケア ポータルでコードを設定する必要があります。

手順

-
- ステップ 1** オンフック中にスピードダイヤルコードを使用してコールを発信するには、スピードダイヤルコードを入力して [短縮ダイヤル] を押します。
- ステップ 2** オフフック中にスピードダイヤルを使用してコールを発信するには、次の手順を実行します。
- a) ハンドセットを持ち上げて、[短縮ダイヤル] を押します。
 - b) スピードダイヤルコードを入力し、もう一度 [短縮ダイヤル] を押して、コールを完了します。
-

Multilevel Precedence and Preemption

官庁のような環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : 既存の低いプライオリティのコールを終了する一方で、電話機に送信された、より高いプライオリティのコールを受け入れる処理です。

発信コールについてプライオリティレベルを選択する場合は、対応するコールの Precedence 番号のリストについてシステム管理者に問い合わせてください。

プライオリティ コールを発信する場合は、システム管理者が設定した MLPP クレデンシャルを入力し、その後に電話番号を入力します。

通常よりも速い特殊な呼出音または特殊なコール待機音が聞こえる場合は、プライオリティ コールが着信しています。

表 1 : *Multilevel Precedence and Preemption* のプライオリティ レベル

MLPP	プライオリティ レベル
 レベル 1	プライオリティ コール
 レベル 2	中程度のプライオリティの (即時) コール
 レベル 3	プライオリティの高い (フラッシュ) コール
 レベル 4	最もプライオリティの高い (フラッシュ オーバーライド) コール
 レベル 5	エクゼクティブ オーバーライド



(注) MLPP アイコンの背景の白と黒は、コールが選択されているかどうかを示します。



(注) より高いプライオリティのコールが、コール リストの上部に表示されます。 MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常です。

より高いプライオリティのコールを受け付ける場合は、通常と同じようにコールに応答します。必要に応じて、まずアクティブ コールを終了します。

コールの最中に継続的にトーンが聞こえる場合、自分または相手に、現在のコールをプリエンプション処理する必要があるコールが着信しています。 より高いプライオリティのコールを想定される相手につなげるために、即座に電話を切ってください。

MLPP を使用したコールを発信または受信した場合は、通常のトーンとは異なる、特殊な呼び出し音およびコール待機音が聞こえます。

無効な MLPP アクセス番号を入力した場合、音声案内によってエラーが警告されます。

次の場合、MLPP を使用したコールのプライオリティとプリエンプション ステータスがそのまま維持されます。

- コールを保留にする

- 通話を転送する
- コールを三者会議に追加する
- ピックアップを使用してコールに応答する

ログインを必要とするプライオリティ コールの発信

手順

- ステップ1 ハンドセットを受け台から取り上げます。
 - ステップ2 [優先レベル] ソフトキーを押します。
 - ステップ3 コールのプライオリティ レベルを選択します。
 - ステップ4 認証画面にクレデンシャルを入力します。正しいログイン情報を入力するまで、3回の機会が与えられます。
 - ステップ5 接続先の番号を入力します。
優先リングバック音が聞こえ、画面に優先レベルアイコンが表示されます。
-

ログインなしでのプライオリティ コールの発信

ログインなしでプライオリティ コールを発信するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ1 ハンドセットを受け台から取り上げます。
 - ステップ2 [優先レベル] を押します。
 - ステップ3 希望する、コールのプライオリティ レベルを選択します。
 - ステップ4 接続先の番号を入力します。
優先リングバック音が聞こえ、画面に優先レベルアイコンが表示されます。
-

サイレント

サイレント (DND) を使用すると、次の着信コールインジケータのいずれかをオフにすることができます。

- 電話の着信音

- 着信音と着信コールを知らせる通知表示

サイレントが有効である場合、着信コールはボイスメールなどの別の番号が設定されている場合はその番号に転送され、コールはコール履歴に保存されることも表示されることもありません。

サイレント機能は電話機の全回線に適用されます。この機能は、インターコムおよび緊急コールには影響しません。

サイレントのオプションを変更するには、セルフ ケア ポータルを使用します。サイレントのオプションのカスタマイズについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_user_guide_list.htmlにある『Cisco Unified Communications Self Care Portal User Guide』を参照してください。

DND のオン/オフの切り替え

手順

-
- ステップ 1** サイレントをオンにするには、[サイレント]を押します。ビジュアル通知が一瞬表示されます。
- ステップ 2** サイレントをオフにするには、[サイレント]を再度押します。ビジュアル通知が一瞬表示されます。
-

回線ステータス

回線ステータスインジケータから、短縮ダイヤルボタンに関連付けられている電話回線の状態を確認できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

回線ステータスインジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドル状態です。
	回線は呼び出し中です（コールピックアップ専用の状態）。

回線ステータスインジケータはシステム管理者が短縮ダイヤルボタンに対して設定でき、次の機能とともに使用できます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルボタンにある特定の番号のステータスをモニタ（およびその番号にダイヤル）できます。モニタされている回線が使用できない場合、回線ステータス ボタンは通常の短縮ダイヤル ボタンに変わります。

ダイレクト コール パーク

短縮ダイヤル ボタンにあるダイレクト コール パーク 番号の回線ステータスをモニタしたり、その番号にダイヤルしたりすることができます。

コール ピックアップ

短縮ダイヤル ボタンでの呼び出し中のコールの回線ステータスをモニタ（および呼び出し中のコールをピックアップ）できます。

モニタされている回線でコールが鳴った場合は、電話機でオーディオアラートを再生できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

迷惑呼 ID

迷惑呼 ID (MCID) では、アクティブ コールを不審なコールとして識別し、一連の自動化されたトラッキングおよび通知メッセージを開始できます。

不審なコールのトレース

手順

システム管理者にサイレント通知メッセージを送信するには、[迷惑呼] を押します。サイレント通知メッセージが送信されると、電話機ではビジュアル通知とオーディオ通知の両方が出ます。

Cisco エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティを使用すると、Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。Cisco エクステンション モビリティにログインすると、電話機には「リセット中。」というメッセージが表示されてから「登録」と表示されます。リセットすることで、電話回線、機能、確立されたサービス、Web ベースの設定などのユーザプロフィールを電話機に適用できるようになります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

エクステンション モビリティの有効化

手順

-
- ステップ1 アプリケーションを押します。
 - ステップ2 [エクステンション モビリティ] を選択します (EM サービスを含む名前は異なる場合があります)。
 - ステップ3 ユーザ ID と暗証番号 (システム管理者から取得) を入力します。
 - ステップ4 プロンプトが表示された場合は、デバイス プロファイルを選択します。
 - ステップ5 [アプリケーション] を押してログアウトします。
 - ステップ6 [サービス] を選択します。
 - ステップ7 [エクステンション モビリティ] を選択します。
 - ステップ8 ログアウトするよう求められたら、[はい] を押します。
-

モバイルコネクト

モバイルコネクトを設定すると、携帯電話を使用してデスクの電話番号にかかってきたコールを処理できます。

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

モバイルコネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先 (携帯電話) が同時にコールを受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答し、回線を共有している Cisco Unified デバイスにコールを切り替えると、同じ回線を共有している Cisco Unified デバイスに、「リモートで使用」メッセージが表示されます。

モバイルコネクトの有効化

手順

-
- ステップ1 [モビリティ]を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ2 [選択]を押して、ステータスを変更します。
 - ステップ3 [終了]を押します。
-

デスクの電話機からすべてのリモート接続先に対するモバイルコネクトの有効化または無効化

手順

-
- ステップ1 [モビリティ]または[携帯電話へ]を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ2 [選択]を押して、ステータスを変更します。
 - ステップ3 [終了]を押します。
-

デスクの電話機のコールを携帯電話に切り替える

手順

-
- ステップ1 [モビリティ]を押します。
 - ステップ2 [携帯電話へ]を選択します。
 - ステップ3 進行中のコールに携帯電話で応答します。
 - (注) 他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
-

携帯電話のコールをデスクの電話機に切り替える

手順

-
- ステップ1 デスクの電話機の回線を選択します。
 - ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ3 5～10秒以内にデスクの電話機の[復帰]を押して、デスクの電話機で会話を開始します。
-

携帯電話からデスクの電話機へのコールのハンドオフ

手順

-
- ステップ1 携帯電話でハンドオフ機能のアクセスコードを入力します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
 - ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ3 10秒以内にデスクの電話機の[応答]ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。
-

ハントグループ

ハントグループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。システム管理者はハントグループに一連の電話番号を設定します。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

ハントグループのメンバーは、コールを受信する場合にハントグループにログインし、コールで電話機の呼出音を鳴らさなくする場合にハントグループからログアウトします。

ハントグループへのログインおよびログアウト

ハントグループからログアウトしても、ダイレクトコールは引き続き電話機に着信します。

手順

-
- ステップ 1** [ハント グループ] を押してログインします。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。
- ステップ 2** [ハント グループ] をもう一度押してログアウトします。
-

キューの統計情報の表示

ハント グループ キューのステータスを確認するには、キューの統計情報を使用します。

手順

-
- ステップ 1** [キューのステータス] を押します。
[キューのステータス] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 統計情報を更新するには、[更新] を押します。
- ステップ 3** 終了するには、[終了] を押します。
-

C 割込

C 割込機能を使用すると、自分自身を共有回線上のコールに追加して標準的な（アドホック）会議を行えます。

共有回線の会議への参加

手順

使用中の共有回線の回線ボタンを押します。プライバシーが有効な場合は、自分自身を共有回線に追加することはできません。

エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機のディスプレイにメッセージが「リセット中。お待ちください」、「登録」の順に表示されます。リセットにより、電話回線、機能、設定

されているサービス、Web ベースの設定など、ユーザ プロファイルを電話機で採用できます。EM はシステム管理者が設定します。

エクステンション モビリティの有効化

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション]  を押します。
 - ステップ 2 [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
 - ステップ 3 ユーザ ID と PIN (システム管理者によって提供されます) を入力します。
 - ステップ 4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
 - ステップ 5 ログアウトするには、[アプリケーション]  を押します。
 - ステップ 6 [サービス] を選択します。
 - ステップ 7 [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
 - ステップ 8 ログアウトのプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。
-



第 8 章

高度な操作

- [コール機能, 67 ページ](#)
- [機能ボタンとソフトキー, 70 ページ](#)
- [Survivable Remote Site Telephony の概要, 72 ページ](#)

コール機能

この項では、Cisco IP Phone で使用可能な高度なコール機能の一部について説明します。

エージェント グリーティング

エージェント グリーティングを使用すると、顧客からのコールなどに対して、発信者との会話を開始する前のコールの開始時に再生される、事前録音したグリーティングを作成、更新できます。必要に応じて、単一のメッセージまたは複数のメッセージを事前に録音できます。

顧客が電話すると、事前に録音したメッセージが両方の通話相手に聞こえます。メッセージが終わるまでミュートのままにすることも、メッセージ再生中にコールに応答することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

応答

着信コールが1つだけの場合は、[応答]を押すことでコールに応答することができます。着信コールが複数ある場合、[応答]を押すと発信者のリストが表示されます。その中から、応答する相手を決定することができます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも優先されます。[応答] ボタンの設定は、コール処理のニーズおよび作業環境によって異なります。この機能は、複数の回線を使用するユーザ向けに設定されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールがあると、コールトーストという通知ウィンドウが電話スクリーンに表示されます。コールトーストは、プリセットした時間、表示されたままになります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

着信コールが、別の電話機から転送されたコールである場合、コールが転送されたことを示す追加情報が表示されることがあります。この追加情報から、発信者の詳細を確認できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話がかかってきた場合、画面に表示される電話番号には、発信者に連絡するためにダイヤルできる数字の文字列が含まれています。この数字文字列には、必要に応じて次の数字を含めることができます。

- 外線を取得するためのコード（たとえば、9 をダイヤルする必要があります）
- 長距離コード
- エリアコード
- 市外局番
- 電話番号

電話機では、通話履歴に完全な数字文字列が保存され、ユーザは個人アドレス帳に番号を保存できます。

クライアント識別コード

電話番号のダイヤル後、管理者からクライアント識別コード（CMC）の入力を求められることがあります。CMC は、アカウントコードや請求コードに使用することができます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

CMC を入力する必要がある場合、電話機に「クライアント識別コードを入力してください」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が“*****”に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。キーパッドを使用して、コールの CMC を入力します。

関連トピック

[強制承認コード](#)、(68 ページ)

強制承認コード

電話番号のダイヤル後、管理者から強制承認コード（FAC）の入力を求められることがあります。FAC によって、電話番号へのアクセスが制御されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

FAC を入力する必要がある場合、電話機に「承認コードを入力してください」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が“*****”に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。キーパッドを使用して、コールの FAC を入力します。セキュリティ上の理由から、入力した番号の代わりに“*”が電話機に表示されます。

関連トピック

[クライアント識別コード](#), (68 ページ)

セキュア通知トーンと非セキュア通知トーン

電話機がセキュア（暗号化され、信頼できる）なものとして設定されている場合、その電話機には「保護」というステータスを割り当てることができます。保護された電話機では、コールの開始時に通知トーンが再生されるように設定できます。

これらのセキュア通知トーンまたは非セキュア通知トーンは、保護された電話機でのみ聞くことができます。コール中にコールの全体的なステータスが変更されると、保護された電話機では適切なトーンが再生されます。

[Play Tone to Indicate Secure] オプションが有効 (True) である場合、保護された電話機では、状況によって異なるタイプのトーンが再生されます。

- エンドツーエンドのセキュアなメディアが確立され、コールステータスがセキュアになった場合、電話機ではセキュア通知トーン（間に小休止を伴う 3 回の長いビープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドの非セキュアなメディアが確立され、コールステータスが非セキュアになった場合、電話機では、非セキュア通知トーンが再生されず（間に小休止を伴う 6 回の短いビープ音）。
- [Play Tone to Indicate Secure] オプションが無効になっている場合、トーンは再生されません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

共有回線

共有回線を使用すると、1 つの電話番号を複数の電話機で使用できます。

複数の電話機があり、電話番号は 1 つで、同僚とコール処理タスクを共有したり、管理者の代理でコールを処理したりする場合は、共有回線を使用します。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
- コールに応答した場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に変わります。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に変わります。

回線ボタンが赤色の場合は、その回線を使用してコールに割り込んだり、他のコールを発信したりできません。

- コールを保留にした場合

- 自分の回線ボタンが緑色に点滅します。
- 同僚の回線ボタンが赤色に点滅します。

回線ボタンが赤色で点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

通話履歴には、共有回線のすべてのコールのステータスが表示されます。たとえば、共有回線でコールの呼出音が鳴っているときにコールに応答する場合、回線を共有する同僚はコールがリモートで応答されたことを確認します。通話履歴には、発信、受信、リモート発信、リモート受信、または不在着信のコールが識別表示されます。

機能ボタンとソフトキー

次の表に、専用機能ボタンで使用できる機能の一部、プログラマブル機能ボタンまたはソフトキーにシステム管理者が設定する機能の一部を示します。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

表 2: 機能アクセス

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
C 割込			X
折返し		X	X
すべてのコールの転送		X	X
コール パーク		X	X
コール パーク回線ステータス		X	
コール ピックアップ		X	X
コールピックアップ回線ステータス		X	
会議	X		X

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
ダイレクトコールパーク		X	
即転送			X
サイレント (DND)		X	X
グループピックアップ		X	X
保留	X		
ハントグループ		X	X
インターコム		X	
迷惑呼 ID (MCID)		X	X
ミーティング		X	X
モバイルコネクト		X	X
ミュート	X		
他グループピックアップ		X	X
プライバシー		X	
品質レポートツール (QRT)		X	X
リダイヤル		X	X
モニタリングおよび録音			X
スピードダイヤル		X	X
スピードダイヤル回線ステータス		X	
転送	X		X

Survivable Remote Site Telephony の概要

電話機と Cisco Unified Communications Manager 間の通信が中断されると、電話機にアラートメッセージが表示されます。アクティブコールで通話中の場合、コールは確立されたままで、フェールオーバー状態になります。Survivable Remote Site Telephony (SRST) 機能によって、このフェールオーバーが実行されます。

フェールオーバー中は、電話機の一部の機能を使用できません。次の表に、一般的な機能および機能の可用性を示します。ただし、一部の機能は、電話機のサポート対象でないことがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機が接続を失うと、「サービスが制限されています。」

というメッセージが表示されることがあります。

表 3: フェールオーバー中にサポートされる機能

機能	サポート対象	注
発信	Yes	
終了	Yes	
リダイヤル	Yes	
応答	Yes	
保留	Yes	
復帰	Yes	
会議	Yes	
アクティブコールへの会議 (参加)	No	[アクティブコール] ソフトキーが表示されません。
会議参加者リスト	No	
転送	Yes	
アクティブコールへの転送 (直接転送)	No	
自動応答	Yes	
コール待機	Yes	

機能	サポート対象	注
発信者 ID	Yes	
オーディオ メッセージ受信のインジケータ	Yes	
すべてのコールのプログラマブル回線キー	Yes	
応答のプログラマブル回線キー	Yes	
統合セッション表示	Yes	サポートされる機能は会議のみです。
ボイスメール	Yes	ボイスメールは、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内の他のユーザとは同期されません。
スピードダイヤル	Yes	
サービス IRL プログラマブル回線キー	Yes	
ボイスメールへ (即転送)	No	[即転送] ソフトキーが表示されません。
回線フィルタ	部分的	回線はサポートされますが、共有できません。
パーク モニタリング	No	[パーク] ソフトキーが表示されません。
割り込み	No	「この機能は現在使用できません」というメッセージが表示されます。
拡張メッセージ待機インジケータ	No	メッセージ数のバッジは、電話スクリーンに表示されません。 [メッセージ受信] アイコンのみが表示されます。
ダイレクト コール パーク	No	ソフトキーが表示されません。

機能	サポート対象	注
回線ステータス	部分的	回線ステータス機能キーは、スピードダイヤルのキー同様に作用します。
保留復帰	No	コールは、無期限で保留状態になります。
リモート回線の保留	No	コールは、内線保留コールとして表示されます。
ミートミー	No	[ミートミー]ソフトキーが表示されません。
ピック	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
グループ ピックアップ	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
他グループ ピックアップ	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
迷惑呼 ID	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
QRT	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
ハント グループ	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
インターコム	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
モビリティ	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
プライバシー	No	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
折返し	No	[折返し]ソフトキーが表示されません。



第 9 章

設定

- [明るさの調整, 75 ページ](#)
- [ヘッドセットの側音の調整, 75 ページ](#)
- [呼出音の変更, 76 ページ](#)
- [回線の設定, 77 ページ](#)
- [電話機サービス, 77 ページ](#)

明るさの調整

手順

- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2** [設定] を選択します。
 - ステップ 3** [明るさ] を選択します。
 - ステップ 4** ナビゲーションパッドの左矢印および右矢印を使用して、明るさを調整します。
 - ステップ 5** [保存] を押して明るさを設定するか、[キャンセル] を押して終了します。
-

ヘッドセットの側音の調整

システム管理者によって電話機にヘッドセットの側音の制御機能が設定されている場合は、電話機からヘッドセットの音量を指定できます。

手順

- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [設定] を選択します。
- ステップ3** [ヘッドセットの側音] を選択します。
- ステップ4** 次のいずれかの側音レベルを選択します。
- 高い
 - 標準
 - 低い
 - オフ
- ステップ5** [戻る] を押して、[設定] 画面に戻ります。
-

呼出音の変更

電話機で着信コールを通知する方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調整できます。

手順

- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [設定] を選択します。
- ステップ3** [呼出音] を選択します。
- ステップ4** 目的の呼出音を選択します。
- ステップ5** [再生] を押して、呼出音を再生します。
- ステップ6** [設定] を押して、呼出音を選択します。
- ステップ7** [適用] を押して選択内容を確認するか、[キャンセル] を押して [呼出音] 画面に戻ります。
- ステップ8** [設定] 画面に戻るには、[戻る] を押します。
-

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

回線の設定を変更するには、Cisco Unified Communications セルフケアポータルを使用します。詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_user_guide_list.htmlにある『Cisco Unified Communications Self Care Portal User Guide』を参照してください。

電話機サービス

電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワークデータ、Webベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。電話機でサービスにアクセスするには、セルフケアポータルを使用して電話サービスに登録する必要があります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。設定したサービスが複数ある場合は、メニューからオプションを選択します。

次の機能ボタンのいずれかを使用してサービスを選択します。

-  (システム管理者が設定する機能ボタン)
-  メッセージ
-  アプリケーション
-  連絡先

Cisco Unified Communications セルフケアポータルについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_user_guide_list.htmlにある『Cisco Unified Communications Self Care Portal User Guide』を参照してください。



第 10 章

よくある質問

- ・ [よくある質問, 79 ページ](#)

よくある質問

次の項では、FAQ について説明します。

電話スクリーンにドキュメントと同じアイコンが表示されないのはなぜですか。

電話スクリーンのアイコンの多くは、Cisco IP Phone 7841 にのみ表示されます。

Cisco IP Phone 7821 ではセカンダリ回線を機能ボタンとして使用できますか。

はい。2つの電話回線が不要な場合は、システム管理者がセカンダリ回線に機能を設定することができます。

保留中のコールを再開するにはどうすればよいですか。

コールを再開するには、保留ボタン、[復帰] ソフトキー、または回線ボタンを押します。

電話機がスリープ状態から復帰しないのはなぜですか。

システム管理者が EnergyWise を使用して電話機を設定している場合は、電話機がスリープ状態（電源オフ）になることがあります。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時刻に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。選択ボタンを押すと、電話機を復帰できます。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

呼び出し音が4回続けて再生されます。どういう意味がありますか。

節電のためにまもなく電話機が電源オフ（スリープ状態）になることを知らせています（EnergyWise 機能）。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時刻に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

電話機に「セキュリティエラー」というメッセージが表示された場合はどうすればよいですか。

電話機のファームウェアが内部エラーを識別しました。電話機のコードを電源コンセントから外し、1分待ってから再び接続します。メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。



第 11 章

トラブルシューティング

- [会議ボタンとソフトキーが反応しない, 81 ページ](#)
- [ミーティング会議のビジー音, 81 ページ](#)
- [パーソナルディレクトリにログインできない, 82 ページ](#)
- [リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない, 82 ページ](#)
- [セルフケアポータルにアクセスできない, 83 ページ](#)
- [セキュリティエラーメッセージ, 83 ページ](#)

会議ボタンとソフトキーが反応しない

問題

会議コールを設定しましたが、[会議] ソフトキーが使用できず、会議ボタンが反応しません。

考えられる原因

会議の参加者が最大数に達しています。

ソリューション

会議の参加者の 1 人に切断するよう求めるか、参加者を切断します。

ミーティング会議のビジー音

問題

ミーティング会議にダイヤルした後でビジー音が聞こえます。

考えられる原因

会議のホストがまだ会議に参加していません。

ソリューション

再度発信します。

パーソナルディレクトリにログインできない

問題

パーソナルディレクトリにログインできません。

考えられる原因

- 個人識別番号（暗証番号）ではなく、パスワードを使用してログインしようとしています。
- 暗証番号をリセットする必要があります。

ソリューション

- パスワードではなく、暗証番号を使用してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

リモートで保留されているコールの発信者IDが表示されない

問題

Cisco IP Phone 7821 で共有回線を使用しているが、リモート回線の保留中に発信者 ID が表示されません。



(注) これは、Cisco IP Phone 7821 にのみ適用されます。

考えられる原因

これは仕様どおりの動作です。

ソリューション

ありません。

セルフケアポータルにアクセスできない

問題

セルフケアポータルにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があるか、管理者がページへのアクセス権を変更した可能性があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

セキュリティエラーメッセージ

問題

電話機に「セキュリティエラー」と表示されます。

原因

電話機のファームウェアが内部エラーを識別しました。

ソリューション

メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者にお問い合わせください。



第 12 章

製品の安全性およびセキュリティ

- [安全性と性能に関する情報, 85 ページ](#)
- [FCC 適合性宣言, 86 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, 87 ページ](#)

安全性と性能に関する情報

停電

停電や他のデバイスが、Cisco IP Phone に悪影響を及ぼすことがあります。

電話機から緊急サービスにアクセスするには、電話機に電力が供給されている必要があります。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、サービスおよび緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、サービスおよび緊急通報サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要な無線周波数（RF）および可聴周波数（AF）がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセット、ケーブル、コネクタなど）の使用を推奨しています。



(注) 一部の Cisco IP テレフォニー製品では、外部デバイス、コード、またはケーブルがサポートされていません。詳細については、使用するエンドポイントのマニュアルを参照してください。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。そのような場合、シスコは次の対策の 1 つ以上を講じることを推奨します。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイス用のケーブル上にフェライトまたはその他類似のデバイスを使用します。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの性能を保証できません。



注意

EU 諸国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットのみを使用してください。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス

Cisco IP Phone は、ヘッドセットが Bluetooth をサポートしている場合は、Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。Bluetooth により、10 メートル (30 フィート) の範囲で、低帯域のワイヤレス接続が実現されます。最適なパフォーマンスは、1～2 メートル (3～6 フィート) の範囲で得られます。最大 5 個のヘッドセットを接続できますが、接続された最後の 1 個のみがデフォルトとして使用されます。

干渉の問題が潜在的に存在しているため、802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、金属製の大きな物体は、ワイヤレス ヘッドセットから遠ざけておくことをお勧めします。

Bluetooth 無線ヘッドセットが機能するために、ヘッドセットが電話機の直接の見通し線内にある必要はありませんが、壁やドアなどの障害物、および他の電子デバイスからの干渉が接続に影響を及ぼすことがあります。

電源について

CAT 5e イーサネット ケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone のすべての機能を使用できます。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が装備されている場合、Cisco IP Phone の電源を LAN ポートから供給することができます。LAN イーサネット ケーブルは建物の外部まで延長しないでください。

FCC 適合性宣言

米国連邦通信委員会は次に対する適合性宣言を義務付けています。

FCC Part 15.21 適合性宣言

適合性に責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利が無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC 受信機およびクラス B デジタル装置の適合性宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の規格に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

この装置でラジオまたはテレビ受信への干渉が発生しているかどうかは、装置の電源をいったん切って再度投入することで確認できます。干渉している場合は、次の方法を 1 つ以上実行し、干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動する。
- 装置またはデバイスとの距離を離す。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に連絡する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布、および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<http://www.bis.doc.gov/index.php/regulations/export-administration-regulations-ear> で参照できます。



第 13 章

保証

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 89 ページ

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の <http://www.cisco.com/go/hwwarranty> で提供しています。

